

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	代行事業	事業番号、事業名	59 県代行			補助・単独別		補助	建設部 道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
1	かわむかいの (町)川向柳野線 かわむかい 川向  (南木曾町)	道路築造工 L=1800m W=5.5(7.0)~ 6.0(8.0)m  (工期:H19~H26)	道路築造工 L=280m	道路築造工 L=240m 橋梁下部工 橋梁上部工	道路築造工 L=1000m 橋梁2橋	必要性 A	39%	H23年度に全ての用地買収が完了し、今後工事を促進する。	生活基盤の強化、国道19号の迂回路として重要度が高く、また、地域住民との合意形成を図られており、事業が順調に進んでいることから、継続して実施したい。	重要性が高く、必要性も認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 H22変更 工法変更5億円増 工期2年延長 地質調査結果に基づく工法変更				
						効率性 A	木曾川右岸道路計画区間の一部である。				
			17億2000万円	2億4000万円	2億4000万円	10億4600万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし			
2	かわきた (村)川北1号線 どの 殿  (大桑村)	道路改良工 L=1,700m W=6.0(8.0)m  (工期:H18~H23)	道路改良工 L=407m	道路改良工 L=80m	道路改良工 L=80m	必要性 B	95%	計画どおり進んでいる。 H23年度に計画全区間を完了とする。	生活基盤の強化、国道19号の迂回路として重要度が高く、地域住民との合意形成も図られており、工事も順調に進んでいる。継続して事業を実施し、H23年度での完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
						重要性 A	特記事項				
						効率性 A	木曾川右岸道路計画区間の一部である。				
			9億2400万円	2億7400万円	5000万円	5000万円	緊急性 B	住民参加状況等 完成した区間の草刈り、側溝清掃を地元で行っている。			
3	なががわて (市)中川手線 どくち 土口  (長野市 信州新町)	道路改良工 L=500m W=4.0(6.0)m  (工期:H20~H25)	用地測量 一式 用地買収 一式 物件補償 一式	道路改良工 L=150m	道路改良工 L=350m	必要性 B	22%	残用地補償を完了させ、工事に着手する。	役場や病院へのアクセス向上等生活基盤の強化として重要度が高く、また地域住民との合意形成も図られており、事業も順調に進んでいることから継続して事業を実施したい。	小川村を含む医療機関へのアクセス道路であり、1.5車線での整備の必要性は認められる。	「継続」
						重要性 B	特記事項				
						効率性 A	特になし。				
			5億円	870万円	7000万円	4億2930万円	緊急性 C	住民参加状況等 沿道の草刈りや側溝清掃を地元で行っている。			
4	ながせあきやま (村)長瀬秋山線 あきやま 秋山  (栄村)	道路築造工 L=1,060m W=5.5(7.0)m  (工期:H17~H24)	道路築造工 L=720m	落石防護工 L=130m	道路築造工 L=150m	必要性 A	89%	橋梁工事が完了し、残工事を促進する。	生活基盤の強化、秋山郷へのアクセス向上及び国道405号の迂回路として重要度が高く、地域住民との合意形成も図られており、工事も順調に進んでいることから継続して事業を実施したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
						重要性 A	特記事項				
						効率性 A	特になし。				
			11億6400万円	2億5350万円	8500万円	1億2050万円	緊急性 B	住民参加状況等 沿道の草刈りや花植え等を地元で行っている。			

分野	代行事業	事業番号、事業名	59 県代行			補助・単独別	補助	建設部 道路管理課			
番号	管所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
5	(市)4-116号線 こまげ 小管  (飯山市)	道路築造工 L = 1,770m W = 4.0(6.0)m  〔工期：H20～H25〕	道路築造工 L=380m	道路築造工 L = 380m	道路築造工 L = 1,390m	必要性 B	24%	H22年度迄にパイラス部の用地補償が完了。 引き続き、工事を促進する。	生活基盤の強化、観光地へのアクセス向上の面から重要度が高く、地域住民との合意形成も図られており、事業も順調に進められていることから、継続して事業を実施したい。	観光振興を図るため1.5車線での整備の必要性は認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項				
		4億8000万円	7110万円	1億円	3億3390万円	効率性 A	特になし。				
					緊急性 B	住民参加状況等 沿道の植栽等の美化活動、路面の補修や側溝清掃を地元で行っている。					
合計	5箇所	47億8800万円	8億4730万円	5億4500万円	19億7970万円		A：配点の75%以上 B：50%以上75%未満 C：50%未満				